

留学で出会った友人を訪ねて

留学プログラムが終わりに近づくとつれ、周りの友達は留学後何をするのかを話すようになりました。インターンを探す人もいましたが、私は今度は日本でやりたかったため、旅行を計画していました。私は、寮で一緒に住んでいて特に仲良くなったハワイ出身の友人と、カリフォルニアのリバーサイドから来ている友達を訪ねてきました。

初めて行ったハワイは、南国の楽園という代名詞そのままの美しい島でした。日本人の観光客がたくさんいて、どのお店に行っても日本語が通じることにはびっくりしましたが、私は現地の人しか知らないシークレットビーチや観光客の全くない熱帯雨林、正真正銘の無人島などに行き、思う存分楽しんできました。朝5時に起きて、眠い目をこすりながらマウンテンバイクに乗って山に登り、海岸から見える日の出を見たときは、「生きてるってすばらしいな。」と感動しました。

ハワイを去った後は飛行機でロスアンゼルスへ。日本に近づいたのにまたアメリカ本土に逆戻りです笑。車で迎えに来てくれた友人と共にリバーサイドへ行きました。アメリカ生活最後の街なので、目いっぱいしゃべろうと思い、思いっきり飲んで騒いで潰れてきました。もう、思い残すことはありません。「アメリカ」と聞くと、「ああ、あの二日酔いした国ね。」といった具合に。

留学のあとに

飲んでばかりはいられません。いま私は、東京で行われているいくつかの海外大生専用の就活フォーラムに参加しています。そこで企業の説明会を受けると同時に、いくつかの企業で選考が進んでいます。私がこのフォーラムに参加したのは、「就活ってどんなものか」を知りたかったためです。私は3年生の秋から留学したので、日本に残った友達はもう企業から内定をもらい就職活動を終えています。これから始ま



ハワイ：朝鮮戦争のセメタリーにて

る仕事探しがどのように行われるかを、じかに体験してみたかったのです。

面接が進んでいく中で気付いたことは、「留学をした」ということそのよりも、「留学で何をしてきたか」ということを聞かれることです。私は卒業を1年延ばしてまでわざわざ留学してきたので、この留学をする前から目的や動機をはっきりさせてきました。私にとって留学は、単に外国で自立生活をしたり、外国人の友達をたくさん作ったりしていくためのものだけではありません。この一年間、私なりに悩み、苦しみ、時には留学途中で日本に帰国しようかとも考え、それらすべてを乗り越えて今の私があります。この留学で得た体験は、就活だけでなく、今後の私の人生に大きく影響を与えていくものであると信じています。

☆

今回で最後の寄稿となりますが、長い期間私の留学記にお付き合いいただき御感謝申し上げます。この留学で出会ったすべての人に、そして、私の留学を支えて下さったすべての人に感謝を込めて。

2008年6月30日 清沢健二

清沢 健二 (きよさわ けんじ)

早稲田大学教育学部3年

昨年9月から1年間、オレゴン州 Oregon University に留学。



清沢君の最後の留学記です。1年以上もの長い間、このコラムで君が紹介してくれた、忙しい留学生活の中、欠かすことなく原稿を送り続けてくれて、本当にありがとうございました。

8回の君のコラムを改めて読み返すと、君が本当に多くのことを経験し、たくさんの収穫があったことがよく分かります。この経験を生かして、これからの学業・研究、そして就職活動がんばってください。

また、早稲田の後期のクラスに、元気な顔を見せてください。そして、この夏から留学に出て行く後輩達に、貴重なアドバイスをお願いします。



巨大なバースデーカード